

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	Isa-VRd
診療科名	血液・腫瘍内科
診療科責任者名	末永 孝生
適応がん種	多発性骨髄腫
保険適応外の使用	☐ 有 ☒ 無
入院外来区分	☒ 入院 ☐ 外来

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	MM-037
登録日・更新日	2025年4月22日
削除日	
出典	N Engl J Med 2024;391:1597-1609
入力者	瀧山 聡

投与順に記入(抗がん剤のみ)

寛解導入(1サイクル)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	イサツキシマブ (サークリサ点滴静注)	100mg、500mg	10mg/kg	☐ IV ☒ DIV ☒ CV ☐ 側管 ☐ その他()	※	day1, 8, 15, 22, 29
	生理食塩液	250mL				
No.2	ボルテゾミブ (ボルテゾミブ注射用)	3mg	1.3mg/m ²	☐ IV ☐ DIV ☐ CV ☐ 側管 ☒ その他(皮下注)	-	day1, 4, 8, 11, 22, 25, 29, 32
	生理食塩液	20mL				
No.3	レナリドミド (レブラミドカプセル)	5mg	25mg/body	☐ IV ☐ DIV ☐ CV ☐ 側管 ☒ その他(経口)	1回/日	day1-14, 22-35
No.4	デキサメタゾン (デキサート注射液)	1.65mg、6.6mg	20mg/body	☐ IV ☒ DIV ☒ CV ☐ 側管 ☐ その他()	1回/日	day1, 8, 15, 22, 29
No.5	デキサメタゾン (レナデックス錠)	4mg	20mg/body	☐ IV ☐ DIV ☐ CV ☐ 側管 ☒ その他(経口)	1回/日	day2, 4, 5, 9, 11, 12, 23, 25, 26, 30, 32, 33

寛解導入(2～4サイクル)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	イサツキシマブ (サークリサ点滴静注)	100mg、500mg	10mg/kg	☐ IV ☒ DIV ☒ CV ☐ 側管 ☐ その他()	※	day1, 15, 29
	生理食塩液	250mL				
No.2	ボルテゾミブ (ボルテゾミブ注射用)	3mg	1.3mg/m ²	☐ IV ☐ DIV ☐ CV ☐ 側管 ☒ その他(皮下注)	-	day1, 4, 8, 11, 22, 25, 29, 32
	生理食塩液	20mL				
No.3	レナリドミド (レブラミドカプセル)	5mg	25mg/body	☐ IV ☐ DIV ☐ CV ☐ 側管 ☒ その他(経口)	1回/日	day1-14, 22-35
No.4	デキサメタゾン (デキサート注射液)	1.65mg、6.6mg	20mg/body	☐ IV ☒ DIV ☒ CV ☐ 側管 ☐ その他()	1回/日	day1, 8, 15, 22, 29
No.5	デキサメタゾン (レナデックス錠)	4mg	20mg/body	☐ IV ☐ DIV ☐ CV ☐ 側管 ☒ その他(経口)	1回/日	day2, 4, 5, 9, 11, 12, 23, 25, 26, 30, 32, 33

5～17サイクル

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	イサツキシマブ (サークリサ点滴静注)	100mg、500mg	10mg/kg	☐ IV ☒ DIV ☒ CV ☐ 側管 ☐ その他()	※	day1, 15
	生理食塩液	250mL				
No.2	レナリドミド (レブラミドカプセル)	5mg	25mg/body	☐ IV ☐ DIV ☐ CV ☐ 側管 ☒ その他(経口)	1回/日	day1-21
No.3	デキサメタゾン (デキサート注射液)	1.65mg、6.6mg	20mg/body	☐ IV ☒ DIV ☒ CV ☐ 側管 ☐ その他()	1回/日	day1, 15
No.4	デキサメタゾン (レナデックス錠)	4mg	20mg/body	☐ IV ☐ DIV ☐ CV ☐ 側管 ☒ その他(経口)	1回/日	day8, 22

18サイクル以降

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	イサツキシマブ (サークリサ点滴静注)	100mg、500mg	10mg/kg	☐ IV ☒ DIV ☒ CV ☐ 側管 ☐ その他()	※	day1
	生理食塩液	250mL				
No.2	レナリドミド (レブラミドカプセル)	5mg	25mg/body	☐ IV ☐ DIV ☐ CV ☐ 側管 ☒ その他(経口)	1回/日	day1-21
No.3	デキサメタゾン (デキサート注射液)	1.65mg、6.6mg	20mg/body	☐ IV ☒ DIV ☒ CV ☐ 側管 ☐ その他()	1回/日	day1
No.4	デキサメタゾン (レナデックス錠)	4mg	20mg/body	☐ IV ☐ DIV ☐ CV ☐ 側管 ☒ その他(経口)	1回/日	day8, 15, 22

1コースの期間	寛解導入(1～4サイクル):42日 5サイクル以降:28日
投与間隔の短縮規定	☐ 短縮可能(日)・ ☒ 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	【開始基準】 ・ANC $\geq$ 1000/ μ L、Hb $\geq$ 8g/dL、PLT $\geq$ 7万/ μ L(骨髓の形質細胞比率が50%以上の場合、PLT $\geq$ 3万/ μ L) ・CrCL $\geq$ 30mL/min/1.73m ² 、T-Bil $\leq$ 1.5mg/dL、AST $\leq$ 100U/L、ALT $\leq$ 150U/L
	【減量・中止基準】 イサツキシマブ ・PLT $<$ 5万:回復するまで延期 ・ANC $<$ 1000/ μ L:ANC $\geq$ 1000/ μ Lに回復するまで延期 ボルテゾミブ ・PLT $<$ 5万:回復するまで延期 ・PLT $<$ 2.5万:休薬。回復したら、1レベル下げて再開 ・ANC $<$ 1000/ μ L:延期。ANC $>$ 1000/ μ Lまで回復したら、同量再開 ・ANC $<$ 500/ μ L:休薬。ANC $>$ 1000/ μ Lまで回復したら、1レベル下げて再開あるいはG-CSFを投与して同量再開 <ボルテゾミブの減量レベル> 通常量:1.3mg/m ² 1レベル減量:1.0 mg/m ² 2レベル減量:0.7mg/m ² レナリドミド ・30 $\leq$ CrCL $<$ 60mL/min:10mg/bodyへ減量 ・PLT $<$ 5万:回復するまで延期 ・PLT $<$ 2.5万:休薬。回復したら、1レベル下げて再開 ・ANC $<$ 1000/ μ L:延期。ANC $>$ 1000/ μ Lまで回復したら、同量再開 ・ANC $<$ 500/ μ L:休薬。ANC $>$ 1000/ μ Lまで回復したら、1レベル下げて再開あるいはG-CSFを投与して同量再開 <レナリドミドの減量レベル> 通常量:25mg/body 1レベル減量:20mg/body 2レベル減量:15mg/body 3レベル減量:10mg/body 4レベル減量:5mg/body 5レベル減量:5mg/body 1日おき デキサメタゾン ・PLT $<$ 5万:回復するまで延期 ・ANC $<$ 1000/ μ L:ANC $\geq$ 1000/ μ Lに回復するまで延期 ・75歳以上:day1, 4, 8, 11, 15, 22, 25, 29, 32へ投与日を変更 <デキサメタゾンの減量レベル> 通常量:20mg/body 1レベル減量:12mg/body 2レベル減量:8mg/body 3レベル減量:4mg/body
催吐性リスク	軽度
前投薬	【イサツキシマブ前投薬】アセトアミノフェン+ヒスタミンH1受容体拮抗薬+ヒスタミンH2受容体拮抗薬+デキサメタゾン
支持療法(その他)	・血栓塞栓症予防:アスピリン、抗凝固薬等を投与する。
その他の注意事項	※ イサツキシマブの投与方法は院内標準化に準拠する。 ・帯状疱疹ウイルスの再活性化予防として、抗ウイルス薬(アシクロビル、ファムシクロビル、バラシクロビル等)を投与する。また、抗菌薬(レボフロキサシンやST合剤等)を投与してもよい。